

表浜港（地方港湾） 防潮堤工事が完了しました

表浜港は、牡鹿半島の南西部に位置する地方港湾です。本地区は東日本大震災により甚大な被害を受けたことから、地元住民及び漁業関係者の安全確保のため、平成26年3月から防潮堤の設計に着手しました。

防潮堤の整備方針に係わる地元住民との合意形成に約5年の期間を要したことから、工事着工は平成31年2月となり、当初設計から完成まで7年半の期間を要することとなりました。

本事業の完了は、地元関係者や工事関係者の協力はもとより、漁業関係者との施工調整を真摯に対応していただいた自治体派遣職員（富山県）の御尽力によるところが大きく、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

○事業概要

表浜港防潮堤工事では全長L=708.6m、陸閘を5基整備しました。

本地区については、地元説明会で景観に配慮した防潮堤が望ましいとして意見があったことから、一部区間を傾斜堤にすることで景観に配慮した防潮堤としました。

また、陸閘については、水門・陸閘自動化遠隔化により非常時に自動で陸閘が閉鎖する施設として現在整備中であり、12月末までに運用開始を予定しています。



○完成写真（防潮堤）



着手前



完成後



着手前



完成後

○完成写真（陸閘）



表浜3号陸閘（完成）



表浜4号陸閘（完成）

○完成写真（全景写真）

